

2016年 宮城県労連「参議院選挙闘争方針」 野党統一候補 桜井充氏の勝利をめざして

1 「野党共闘」の統一候補擁立広がる

7月実施予定の第24回参議院議員選挙が2カ月後に迫っています。今回の参議院議員選挙は、戦争法廃止、立憲主義・民主主義の回復を最大の争点に、「自公政権・補完与党」対「野党共闘・市民連合」が対決軸となつてたたかわれる日本の国政選挙史上初の一大政治決戦になります。

去る2月19日、5野党（民主・共産・維新・社民・生活）は、暴走を続ける安倍政権の打倒をめざし、今夏の参議院選挙協力で合意し、同日、「安保関連法廃止」法案を衆議院に共同提出しました。

中央に先立ち、宮城では2月7日、社民党県連と民進党参議院議員の桜井充氏の推薦（宮城選挙区定数1）を決め、3

月2日には民進党宮城県連と共産党宮城県委員会が「政策協定」を締結し、共産党の選挙区候補者の立候補を取り下げ、桜井氏に一本化することで合意しました。

その後、1人選挙区の野党統一候補の擁立が進み、全国32選挙区中、9割にあたる29選挙区（5月19日現在）に広がっています。5/24現在、32全選挙区で統一候補確定

この前哨戦となった衆議院選北海道5区の補選（4月24日実施）は、自民党候補と野党・市民連合の池田候補の一騎打ちでたたかわれ、結果は池田候補が敗れたものの、得票数は拮抗するまで善戦、健闘しました。夏の参議院選挙勝利の大きな展望をつくりだしました。

2 宮城県労連は野党統一候補「桜井充氏」（民進党参議院議員）を支持します

去る3月5日、宮城県労連第6回常任幹事会は、これまでの野党間の誠実な話し合いの経過と「5野党合意事項」ならびに、民主党県連と社民党県連、共産党県委員会が、それぞれ締結した「政策協定」を論議した結果、私たちの運動方針と要求に合致し、いずれも支持できる内容であると判断しました。

したがって、「県内4野党」（当時）が統一して擁立した桜井充氏の支持を提案します。国政選挙での今回の「5野党共闘」によるたたかいは、日本を戦争しない国から戦争する国につくり変えようとする戦後最も危険な安倍自公政権に抗し、たたかう市民の「野党は共闘を」という切実な願いから生まれた画期的で“新しい形態”のたたかいです。

こうした経過を踏まえ、5月1日の第87回メーデー宮城県中央集会には、野党統一候補

【5野党党首合意事項】（2月19日）

安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする。

安倍政権の打倒を目指す。

国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む。

国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う。

民主党宮城県連と共産党宮城県委員会

【政策協定（大要）】（3月2日）

安保法制廃止（5党合意と同様）

アベノミクスの格差是正

原発依存脱却、再生可能エネルギー促進

不公平税制の抜本是正

民意無視の米軍辺野古新基地建設反対

安倍政権の打倒を目指す

社民党県連の協定（2/7）も包括

の桜井充参議院議員秘書が来賓として出席し、連帯のあいさつを行ないました。

参議院選挙に向けた野党の「選挙協力」は、来るべき衆議院選挙での野党共闘に発展しています。5月13日、野党4党（民進党、共産党、社民党、生活の党）は、5月13日、国会内で幹事長、書記局長会議を開催し、「5野党党首合意」にもとづき、衆議院選挙でも4野党が「出来る限り協力する」ことを確認しました。衆参両院の選挙戦での「野党共闘」という、画期的な情勢が作りだされています。

3 「戦争法廃止」の「野党共闘」は「国民の暮らしを守る共闘」を広げている

昨年9月19日、戦争法が自公政権と補完勢力によって強行、成立した当日夜、日本共産党の志位和夫委員長が、「戦争法廃止」、「立憲主義回復」、「集团的自衛権の閣議決定撤回」、いわゆる「安保法制」廃止の一点で、野党各党と国民に「安倍政権打倒」と「国民連合政府」の樹立を呼びかけたことから、現在の「野党協力」の話し合いが始まりました。

その後、野党間の話し合いは、紆余曲折を経ながらも誠実な交渉を重ね、各党中央の「5野党合意」でも、民進党宮城県連と社民党県連・共産党宮城県委員会との「政策協定」においても、安倍政権の根幹をなす政策に対する反対を明確にかかげました。

具体的には、消費税導入、原発再稼働、TPP協定の国会承認、米軍普天間基地の辺野古沖移転などに反対する立場を鮮明に打ち出しました。これらは私たちの要求と運動にも完全に合致しています。

この「野党共闘」は、「戦争法廃止」（安保法制廃止）法案をはじめ、介護・福祉従事者・保育士の「賃金引き上げ法案」、さらに「長時間労働規制法案」など、衆参で共同提出した法案は13本に広がるまで連携を強めています。

4 安倍自公政権の打倒をめざし、国民平等の選挙権を堂々と行使しよう！

今回の参議院選挙は、憲法を踏みつけにし、日本を戦争しない国から戦争する国につくりかえようとしている安倍自公政権を打倒し、憲法に立脚する立憲主義を回復するための選挙です。憲法をないがしろに「戦争法」（安保法制）をすすめる安倍自公政権の政策は、大企業・富裕層優遇、アメリカ追従の政策とも密接に関わり、国民生活の全分野を直撃する根幹になっていることは明白です。

いま全国各地で、安倍政権打倒と統一候補の擁立を願い、戦争法（安保法制）廃止の運動で生まれた学者、弁護士会、文化人、9条の会、青年・学生のSEAL's、ママの会、労働団体、各種市民団体などが、多様な構成で地方、地域につくられ、運動が展開しています。

私たち宮城県労連も、この新しい「市民運動」の流れに合流し、参議院選挙をたたかい抜きます。今回の参議院選挙から18才選挙権が行使されます。私たち労働者、有権者は、憲法に明記された国民平等の選挙権を正々堂々と行使し、新しい若い有権者に投票行動を促そうではありませんか。

【実現した「野党の統一候補」と地方組織の対応（5月24日現在）】

青森	田名部匡代	民進公認
岩手	木戸口英司	生活公認
秋田	松浦 大悟	民進公認
宮城	桜井 充	民進公認
山形	舟山 康江	無所属
福島	ましこ輝彦	民進公認
栃木	田野辺隆男	無所属
群馬	堀越 啓仁	民進公認
新潟	森 ゆう子	無所属
山梨	宮沢 ゆか	民進公認
富山	道用えつ子	無所属
長野	杉尾ひでや	民進公認
石川	柴田 未来	無所属
福井	横山 龍寛	無所属
岐阜	小見山幸治	民進公認
和歌山	ゆら 登信	無所属
三重	芝 博一	民進党公認
滋賀	林 久美子	民進公認
奈良	前川きよしげ	民進公認
鳥取・島根	福島 浩彦	無所属
岡山	黒石健太郎	民進公認
山口	こうけつ厚	無所属
愛媛	ながえ孝子	無所属
香川	たなべ健一	共産党公認
徳島・高知	大西 聡	無所属
佐賀	中村 哲治	民進党公認
長崎	西岡 秀子	民進公認
大分	足立 信也	民進公認
熊本	あべ 広美	無所属
宮崎	読谷山洋司	無所属
鹿児島	下町 和三	無所属
沖縄	イ八 洋一	オール沖縄